

<自主的努力項目記入書式>

提携先	重茂漁業協同組合	記入日	2009.10.31
登録消費材名	肉厚わかめ、茎わかめ、きざみめかぶ、班／肉厚わかめ10P、重茂天然わかめ、焼うに、塩いくら(重茂)、乾燥カットわかめ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

- ・合成洗剤追放運動。(昭和55年度～)
- ・あわび稚貝放流。(昭和56年度～)
- ・さけ、ます孵化放流。(昭和54年度～)
- ・うに禁漁区設置。
- ・ヒラメ、ソイ稚魚放流。
- ・漁協組合員へせっけん配布。
- ・漁協女性部・青年部が中心となり、漁港、海岸、トイレ、幹線道路の清掃活動。
- ・養殖漁業を計画的に行うため、組合員世帯へオフトーク放送での海水温、栄養塩及び生産(天然物口開け、養殖業関連事項等)、緊急(気象、地震)の連絡を実施。
- ・組合員世帯へオフトークFAXにて生産(天然物口開け、養殖業関連事項等)並びにその他組合員に必要とされる文書を送信。
- ・あわび、うに密漁防止対策として監視船及び陸上監視の実施。
- ・重茂地区小、中学校(4校)の環境整備作業及びリサイクル活動への協力。
- ・魚付保安林の保全及び広葉樹の植樹の実施。
- ・防虫対策、衛生面向上のため、加工場周辺の空き地舗装工事及び排水溝等の整備。
- ・「重茂漁業協同組合未来につなぐ美しい海計画」を岩手県知事の認定を受けて、取り組みを実施。(合成洗剤の追放運動、管理海域への給餌、薬剤の不使用、漁期終了後の施設撤去、残滓処理、漁業系廃棄物の適正処分、養殖生産物のゼロミッション化)
- ・青森県六ヶ所村核燃料再処理工場の本格稼働に反対表明並びに署名活動等を実施。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

- ・合成洗剤追放運動。(漁協がバックアップし漁協女性部が活動継続中)
- ・あわび稚貝放流。(平成20年度実績100万個(30mm)放流)
- ・さけ孵化放流。(平成20年度実績18,100千尾放流(内海中飼育400万尾))
- ・うに禁漁区設置。(一共第109号専属入会1区画設置)
- ・ヒラメ稚魚放流。(平成20年度実績43,000尾放流)
- ・漁協組合員へせっけん配布。(平成20年6月26日第60年度通常総会終了後配布)
- ・毎月、漁協女性部員が漁港、海岸のゴミ拾い及び漁港簡易トイレの清掃実施。
- ・毎年、6月に漁協青年部員が漁港、幹線道路等の清掃(缶拾い、草刈り)実施。
- ・組合員世帯へオフトーク放送は、毎日、海水温等の放送を実施。
- ・組合員世帯へオフトークFAXは、随時送信。
- ・あわび、うに密漁防止対策として監視船にて昼夜監視の実施。
- ・重茂地区小学校(3校)の環境整備作業及びリサイクル活動への協力。(5月、9月)
- ・魚付保安林の保全及び広葉樹の植樹の実施。(平成20年度実施無し。)
- ・「重茂漁業協同組合未来につなぐ美しい海計画」の取り組み。
- ・青森県六ヶ所村核燃料再処理工場の本格稼働の反対活動を実施。
- ・岩手県強い水産業づくり交付金事業「わかめ、こんぶ塩蔵加工処理施設」の構築。(平成21年2月完成)
- ・重茂漁協の将来像を構想する「重茂地域営漁計画」の承認。
- ・音部漁港区域内に第三種区画漁業権取得(あわび、うにの周年出荷)。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

- ・青森県六ヶ所村核燃料再処理工場問題について、徹底した情報公開を求め、更に監視を強化及び継続した反対活動を行い、食の安心、安全に万全を期する。
- ・重茂海産物の更なるブランド化の追求。
- ・消費材基準に係る「推奨レベル」の未達成事項の対応検討並びに実施。
- ・「重茂地域営漁計画」の取組み、持続的な漁業の確立と地域経済の活性化を図る。
- ・「重茂漁業協同組合未来につなぐ美しい海計画」の持続及び遵守状況の把握。
- ・オフトーク放送と連動した津波防災体制づくりの検討及び実施。
- ・今後も合成洗剤追放運動、放流事業、環境整備事業等を継続する。
- ・重茂クリーンパックセンター自動袋詰機を新替し衛生管理の強化。